

**TAKEDA**

2018年5月期

# 決算説明資料

(2017年6月1日～2018年5月31日)



 **タケタ機械株式会社**

# 会社沿革



1966年(昭和41)	3月	石川県能美郡寺井町(現 石川県能美市吉光町)にて個人創業。
1971年(昭和46)	6月	鉄筋加工機・鉄骨加工機の製造販売を目的に、資本金5,000千円にて株式会社竹田機械製作所(現商号 タケダ機械株式会社)を設立。
1973年(昭和48)	5月	販売拠点拡充のため九州、大阪、東京の各営業所を開設。
1976年(昭和51)	10月	販売拠点拡充のため仙台営業所を開設。
1979年(昭和54)	9月	販売拠点拡充のため名古屋営業所を開設。
1980年(昭和55)	1月	販売拠点拡充のため竹田機械販売株式会社(現 タケダ機械株式会社)広島営業所を開設。
1985年(昭和60)	4月	販売拠点拡充のため竹田機械販売株式会社(現 タケダ機械株式会社)北関東営業所を開設。
1986年(昭和61)	8月	本社総合事務所を建設し、事務及び業務合理化のためコンピューターを設置。
1990年(平成2)	6月	竹田機械販売株式会社を吸収合併、同時に商号をタケダ機械株式会社に変更。
	11月	東京営業所社屋新築。
1992年(平成4)	7月	日本証券業協会に店頭登録。
1994年(平成6)	4月	現在地に本社及び工場を移転。
2000年(平成12)	5月	子会社株式会社タケダテクニカルを吸収合併。
2004年(平成16)	12月	株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場。
2006年(平成18)	10月	欠損金填補のため資本準備金及び資本金を減少。
2008年(平成20)	12月	株式会社アマダカッティング(現 株式会社アマダマシンツール)と業務提携を行う。
2009年(平成21)	5月	タケダ精機株式会社を子会社化。

# 会社概要

---

- 創業 : 1966年(昭和41年)3月
- 設立 : 1971年(昭和46年)6月
- 資本金 : 18億7,408万円
- 代表者 : 代表取締役社長 竹田雄一
- 従業員数 : 197名(正社員177名、準社員20名)【連結】
- 敷地面積 : 44, 149m<sup>2</sup>
- 所在地 : 石川県能美市粟生町西132番地
- 生產品目 : 形鋼加工機、丸鋸切断機、金型、その他(受託事業)
- 取引銀行 : 北國銀行、福井銀行、商工中金、三菱UFJ銀行
- 営業所 : 仙台、北関東、東京、名古屋、北陸、大阪、広島、九州
- 駐在所 : マレーシア駐在所
- 納入先 : 鉄骨・鋼材加工会社、製缶・板金加工会社、その他金属加工会社
- 代理店 : 機械工具関連商社、溶材関連商社、鋼材関連商社

# 株主構成

## ●株主の状況(2018年5月末現在)

677637	株主総数		構成比率	発行済株式総数		構成比率
個人	775	名	90.33%	677,637	株	66.44%
金融機関	6	名	0.70%	90,500	株	8.87%
法人	49	名	5.71%	207,280	株	20.32%
証券会社	16	名	1.86%	12,849	株	1.26%
その他	12	名	1.40%	31,734	株	3.11%
合計	858	名	100.0%	1,020,000	株	100.0%

# 会社所在地



● 交通

- ・JR北陸本線小松駅下車 タクシー約15分
- ・小松空港 タクシー約20分



# 事業内容

当社グループの事業内容は、鉄骨・鋼材・製缶板金などの加工を中心とする形鋼加工機、多彩な鋼種の高速高精度切断を中心とする丸鋸切断機の製造販売及びこれに付帯する一切の業務を行っています。

## 形鋼加工機

鉄骨・鋼材の加工並びに製缶板金加工の業界を主力市場とし、建築物や橋梁などの鋼構造物に使用する形鋼材の穴あけ・切断・その他の加工機械を製品としています。

## その他(受託事業)

当地工作機械メーカーやマテハンメーカーなどの受託生産をしています。

## 丸鋸切断機

パイプを含む多彩な鋼種の切断業界を主力市場とし、自動車部品・建機部品・ショーケースなどで使用する無垢材・パイプ材・軽量形鋼を高速高精度で切断する加工機械を製品としています。

## 部 品

自動化に対応する搬入搬出装置や消耗部品・修理部品の補給並びに管理を行っており、部品に関しては「当日出荷」を基本とする在庫管理体制を整えています。

## 金 型

形鋼加工機での搭載及びプレスに単品搭載して使用するユニット式金型で、加工内容に応じて多種多様な加工に対応出来る金型を豊富に揃えています。

## サービス

製品の納入・据付・試運転、有償修理、アフターサービスなどを主力業務とし、ユーザー様との信頼関係を構築し、「顧客満足度の向上」を図る体制で対応しています。

# 形鋼加工機

## ● 主な納入先

- ・ファブリケーター（建築鉄骨加工業）
- ・製缶板金加工業
- ・ハウスメーカー
- ・橋梁
- ・造船
- ・胴縁加工業
- ・その他形鋼加工業

**UWF-150Ⅲ**  
(全自動ユニットワーカー)



**UWD-70ⅡS**  
(ユニットワーカー)



**CBF-3015Ⅱ-ATC**  
(ドリル丸鋸複合機)



**ABM-1530G**  
(多機能型オートポラー)



# 丸鋸切断機

## ● 主な納入先

- ・自動車関連企業
- ・部品加工業
- ・鍛造業
- ・パイプ切断業
- ・鋼材切断業
- ・その他切断業

**CHL-2515A II**  
(形鋼用丸鋸切断機)



**CS-75A II**  
(無垢材用丸鋸切断機)



**CM-1010KKS**  
(角度切り丸鋸切断機)



# 金型

## ●主な納入先

- ・プレス／板金加工業
- ・製缶／鉄骨加工業
- ・アルミ型材加工業
- ・輸送機関連製造業
- ・各種金属関連製造業

### ■パンチ金型(穴あけシリーズ)



### ■切断シリーズ



### ■切欠シリーズ1



### ■切欠シリーズ2

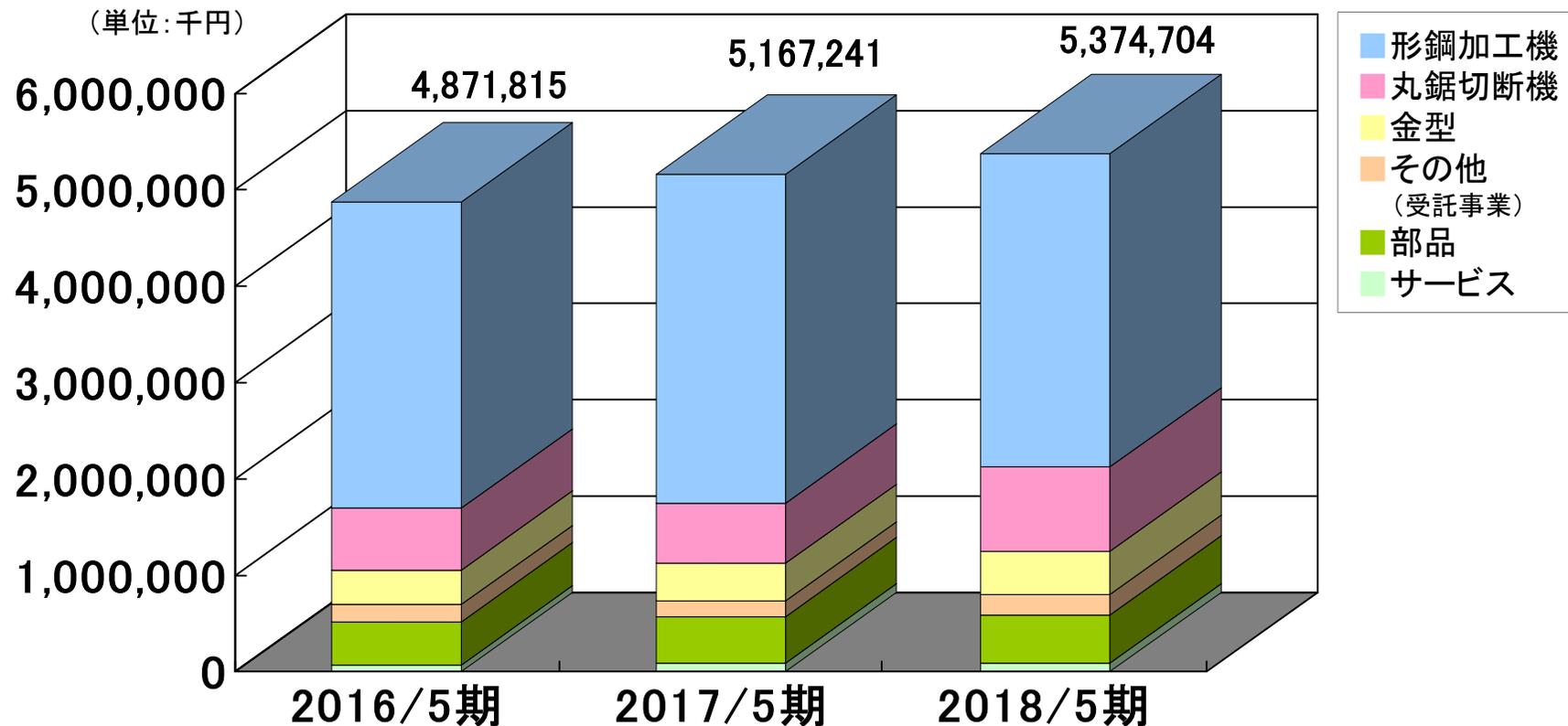


### ■その他シリーズ



# 2018年5月期 業績状況

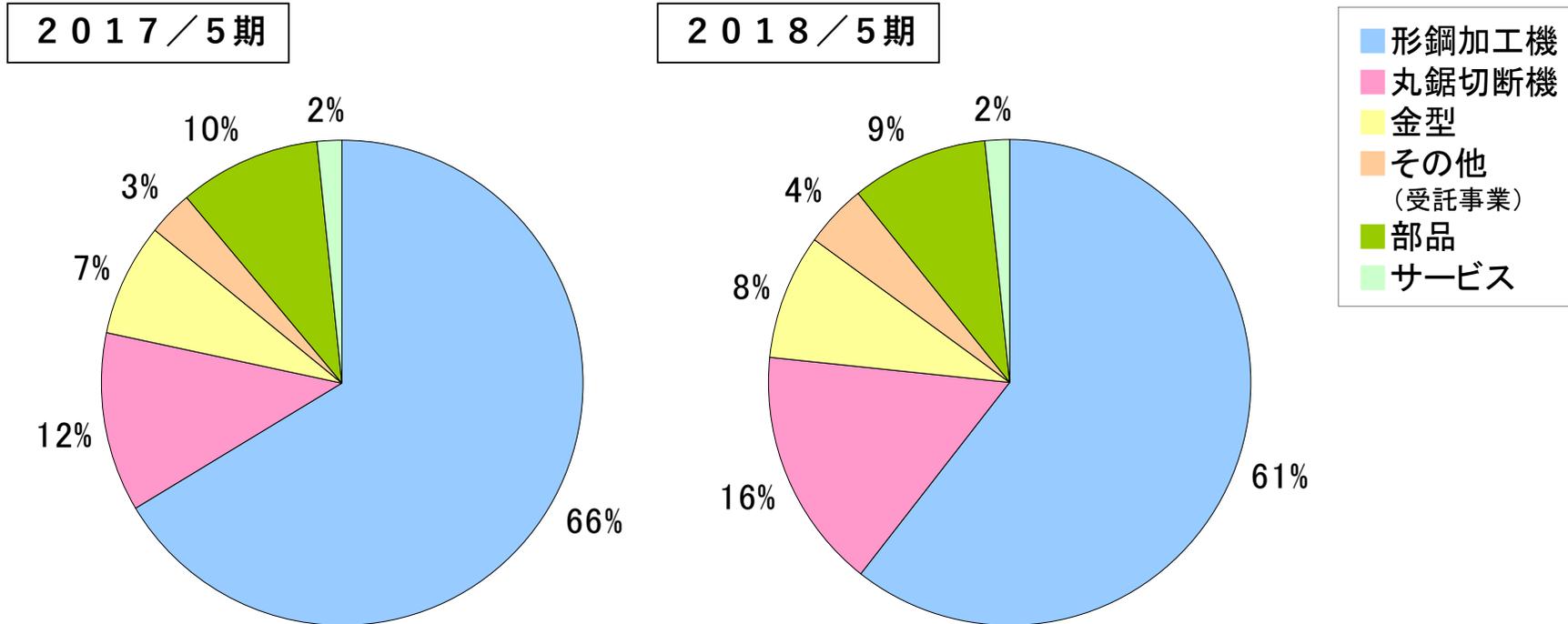
# 売上高【連結】



当連結会計年度における我が国経済は、保護主義による地政学的リスクや先進国の金融政策を受け、株価や為替の変動から企業へのマイナス影響が懸念され、景気の先行きが不透明な状況に変化しつつある中、政府と民間が一体となった景気対策の後押しによって企業収益や雇用情勢に改善がみられるなど、底堅く推移していきました。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に積極的に取り組んでまいりました。

# 売上構成比の比較【連結】



## ●部門別売上高

(単位:千円)

	形鋼加工機	丸鋸切断機	金型	その他	部品	サービス	合計
2017/5期	3,425,014	619,521	387,609	162,420	492,074	80,601	5,167,241
2018/5期	3,248,967	868,753	452,092	220,863	497,760	86,267	5,374,704

# 貸借対照表【連結】

(単位:千円)

	2017/5期	2018/5期	前期比増減額
流動資産	3,585,305	3,735,563	150,258
固定資産	2,665,825	2,546,021	▲119,804
資産合計	6,251,131	6,281,584	30,453
流動負債	2,145,258	2,122,386	▲22,872
固定負債	1,310,701	969,039	▲341,662
負債合計	3,455,960	3,091,425	▲364,534
資本金	1,874,083	1,874,083	—
剰余金等	921,086	1,316,075	394,988
純資産合計	2,795,170	3,190,159	394,988
負債・純資産合計	6,251,131	6,281,584	30,453

# 損益計算書【連結】

(単位:千円)

	2017/5期	2018/5期	前期比増減額
売上高	5,167,241	5,374,704	207,463
売上原価	3,630,670	3,787,579	156,908
販売費・一般管理費	917,535	936,047	18,511
営業利益	619,035	651,078	32,042
営業外損益	5,045	10,627	5,582
経常利益	624,080	661,706	37,625
特別損益	28,128	228	▲27,900
法人税等その他	215,745	210,269	▲5,475
当期純利益	436,464	451,665	15,200

# キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位:千円)

	2017/5期	2018/5期	前期比増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	324,139	407,671	83,531
投資活動による キャッシュ・フロー	▲157,769	▲45,416	112,352
財務活動による キャッシュ・フロー	▲67,432	▲492,796	▲425,364
現金及び現金同等物に 係る換算差額	2,979	▲1,270	▲4,249
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	101,917	▲131,812	▲233,730
現金及び現金同等物の 期末残高	338,468	206,656	▲131,812

# 2019年5月期 業績予想

# 2019／5期通期予想1

---

次期の見通しにおける我が国経済の環境は、海外の地政学的リスクによる影響が懸念される中、国内の設備投資マインドは慎重な姿勢になりつつも、引き続き、東京オリンピック、都市圏の鋼構造物プロジェクト、国土強靱化基本計画による国内インフラ補強などの継続的な内需によって底堅く推移するものと思われま

す。このような環境の下、当社グループは、当面の対処すべき課題として、「お客様視点のものづくり」を基本原点に、積極的な新製品開発の促進、海外売上高の拡大、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に徹底して取り組んでまいります。

# 2019／5期通期予想2【連結】



## ●売上高の実績及び予想

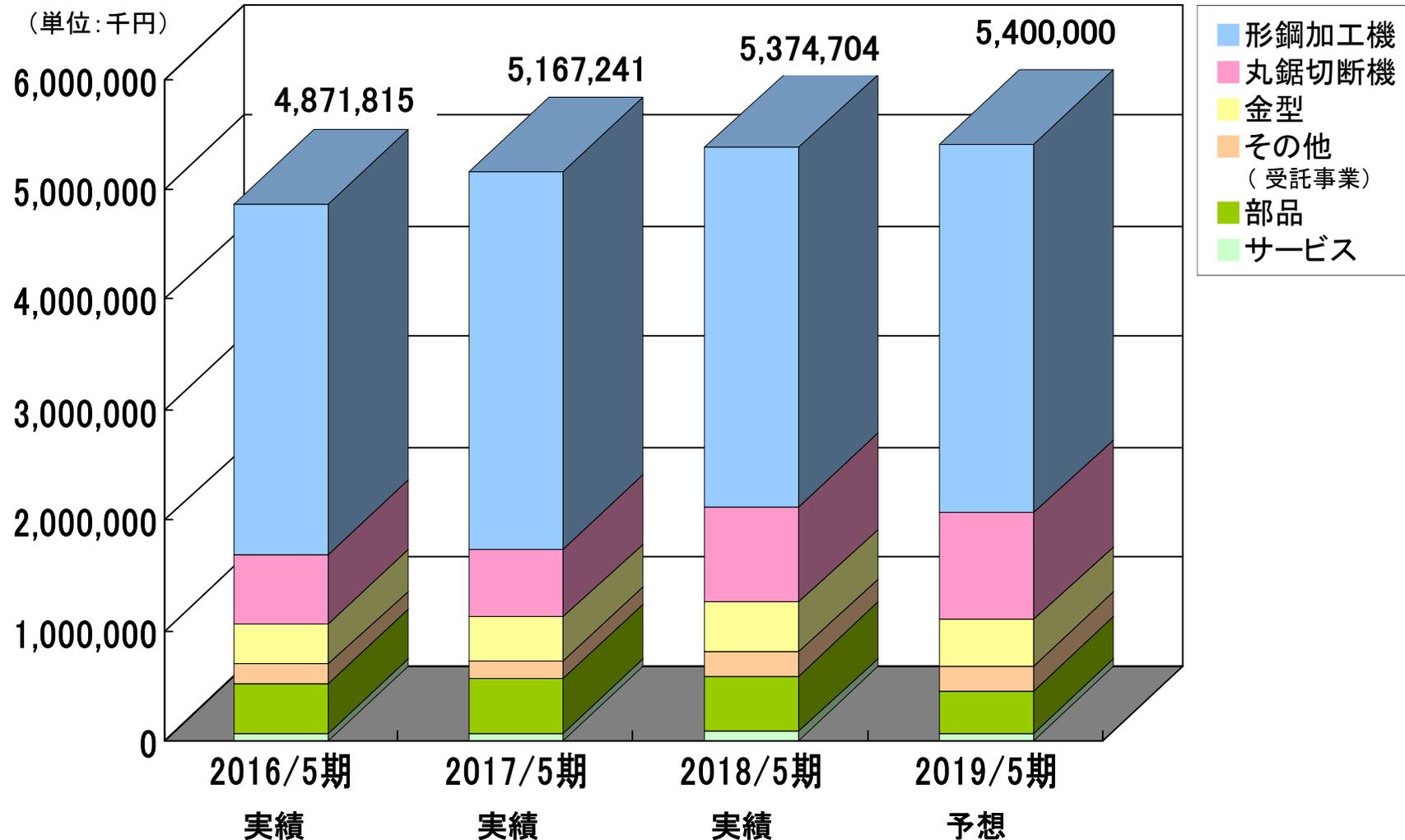
(単位:千円)

	2018／5期 (実績)	2019／5期 (予想)	構成比率	前期比 増減率
形鋼加工機	3,248,967	3,336,480	61.8%	2.7%
丸鋸切断機	868,753	966,520	17.9%	11.3%
金 型	452,092	423,000	7.8%	▲6.4%
その他(受託事業)	220,863	212,000	3.9%	▲4.0%
部 品	497,760	384,000	7.1%	▲22.9%
サービス	86,267	78,000	1.5%	▲9.6%
合 計	5,374,704	5,400,000	100.0%	0.5%

# 2019 / 5期通期予想3【連結】



## ●売上高構成比の増減予想



# 2019／5期通期予想4【連結】



## ●損益計算書の実績及び予想

(単位:千円)

	2018／5期 (実績)	2019／5期 (予想)	前期比 増減率
売上高	5,374,704	5,400,000	0.5%
売上原価	3,787,579	3,790,000	0.1%
販売費・一般管理費	936,047	920,000	▲1.7%
営業利益	651,078	690,000	6.0%
営業外損益	10,627	10,000	▲5.9%
経常利益	661,706	700,000	5.8%
特別損益	228	45,000	—
法人税等その他	210,269	245,000	16.5%
当期純利益	451,665	500,000	10.7%

## I R 情報に関するお問合せ先

---

I R 窓口担当者 : 取締役管理部長 鈴木 修平  
連絡先 : TEL. (0761)58-8231  
FAX. (0761)58-6863  
E-mail [kanri@takeda-mc.co.jp](mailto:kanri@takeda-mc.co.jp)  
URL <http://www.takeda-mc.co.jp>

### ☆ご注意

本資料内の予想数値及び計画数値、事業戦略等につきましては、発表日時点において把握していました情報から、当社が合理的と判断したものを掲載しています。

従いまして、経済環境、事業環境の変化にともない、実際の業績等と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。